

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、9～19℃台を示し、平年並みの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網——シケの為、出漁日数が少なかった。西彼地区では、ゴマサバなどが1日1統当たり36トンの水揚げで、前週の4.5倍（前年を上回った）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり23トンの水揚げで、前週の1.9倍（前年を上回った）。
- イカ釣——スルメイカは、壱岐勝本地区では1日当たり888kgの水揚げで、前週の3.1倍（前年を下回った）。ケンサキイカは、壱岐勝本地区では1日当たり2kgの水揚げ（前年を下回った）。五島奈留地区では1日1統当たり2kgの水揚げで、前週の2倍（前年を下回った）。
- 定置網——五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり2.5トンの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり21kgの水揚げ。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（2/15～2/20の6日間）沖合イカ釣（船凍船）は、対馬沖周辺で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐諸島周辺～佐渡沖～山形沖で操業。鳥取県西部（沖合船）入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第5-4号 五島海区のキビナゴの資源評価」を発表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>